

授業科目	呼吸発声系医学（呼吸発声発語系の構造、機能、病態）				
担当者	本多知行・楯谷一郎			(オムニバス)	
実務経験者の概要					
学科名	言語聴覚専攻科	学 年	2 年	総単位数	1 単位
		開講時期	前期	選択・必修	必修

■ 内 容

嚥下障害分野：嚥下障害の臨床に必要な医学的知識および支援のあり方について学ぶ。(本多)
 音声障害分野：音声障害の基礎及び臨床について、医学的な観点から講義を行う。(楯谷)

■ 到達目標

嚥下障害分野：嚥下障害の理解を深め、人間の根源的欲求である「口から食べる」という QOL の向上を目的として、言語聴覚士が支援できる技術と考え方を習得する。(本多)
 音声障害分野：音声障害のリハビリテーションを行う際に必要となる耳鼻咽喉科学的知識を習得する。(楯谷)

■ 授業計画

- 第1回 嚥下障害の理解のために必要な解剖・生理（本多）
- 第2回 嚥下障害の理解のために必要な評価と訓練1（本多）
- 第3回 嚥下障害の理解のために必要な評価と訓練2（本多）
- 第4回 嚥下障害におけるチームアプローチと関連事項（本多）
- 第5回 偽（仮）性球麻痺タイプの嚥下障害の特徴とアプローチ（本多）
球麻痺タイプの嚥下障害の特徴とアプローチ
- 第6回 変性疾患の嚥下障害に対する特徴とアプローチ（本多）
- 第7回 嚥下障害の重症度分類と最近の話題（本多）
- 第8回 喉頭の解剖（楯谷）
- 第9回 発声の生理機構（楯谷）
- 第10回 喉頭検査法（楯谷）
- 第11回 喉頭疾患の診断と治療：器質的病変（楯谷）
- 第12回 喉頭疾患の診断と治療：器質的病変（楯谷）
- 第13回 喉頭疾患の診断と治療：非器質的病変（楯谷）
- 第14回 音響分析・音声検査法（楯谷）
- 第15回 まとめ（楯谷）

■ 評価方法

筆記試験100%

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

受講後は、その都度レジメやノート搭を読み返し、必ず復習をしておくこと。

■ 教科書

書 名：言語聴覚士のための音声障害学
 著者名：大森孝一
 出版社：医歯薬出版

■ 参考図書

書名：「摂食・嚥下リハビリテーション」第2版

著者名：金子芳洋

千野直一監修

出版社：医歯薬出版

書名：「嚥下障害の臨床」第2版

著者名：日本嚥下障害臨床研究会監修

出版社：医歯薬出版

■ 留意事項

■ 講義受講にあたって